

学 年	5年	実践者	佐藤正明
教 科	総合的な学習の時間	単元名	寺津のためにできること

ICT 活用のねらい	<b>【教員による活用】</b> <input type="checkbox"/> 興味関心を高める <input checked="" type="checkbox"/> 課題を明確につかませる <input type="checkbox"/> 思考や理解を深める <input type="checkbox"/> 判断力をつける。 <input type="checkbox"/> 表現力を高める <input type="checkbox"/> 知識や技能の定着を図る <input type="checkbox"/> 次時やくらしにつなげる	<b>【児童による活用】</b> <input type="checkbox"/> 課題を発見する <input type="checkbox"/> 情報を収集・選択する <input checked="" type="checkbox"/> 情報を整理・分析する <input type="checkbox"/> 文や図にまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 発表・表現する <input type="checkbox"/> 学習を振り返る <input checked="" type="checkbox"/> 知識や技能の習得を図る
	<b>活用する機器</b> <b>ソフト等</b>	<b>使用機器</b> <input checked="" type="checkbox"/> タブレット (Windows ・ iPad ) <input type="checkbox"/> ノート PC <input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板・液晶テレビ <input type="checkbox"/> 書画カメラ (実物投影機) <input type="checkbox"/> その他 ( )
学習形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	
本授業での活用場面・方法活用のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> 導入場面 <input checked="" type="checkbox"/> 展開の場面 <input checked="" type="checkbox"/> 振り返りの場面	
	<b>【導入】</b> ○前時にロイロノートでまとめた振り返りをもとに、プログラムをよりよくするための方法について確認する。 ・4つの視点を振り返りながら本時の見通しをもたせる。 4つの視点⇒ 1 プログラム上の課題      2 説明文書上の課題 3 音声表現上の課題      4 その他の課題 ・「本時、自分はどの課題を改善しようとしているのか」明言させることで、1つの課題に意識を集中させる。 <b>【展開】</b> O M E S Hで作ったプログラムに改良を加える。 <b>【振り返り】</b> ○ロイロノートで振り返りをする。	
これまでの児童の学びや活用の様子 (写真等)	児童会目標「明るく楽しくあいさつ」「みんなが仲のよい学校」に近づけるようにするための方法を考え、実践してきた。夏休み明け初めての登校日には、廊下到人感センサーを設置し、児童が通ったときに「おはようございます。」と元気な声をかけるとともに、夏休みの思い出を尋ねたり、体調を気遣ったり、学校生活を明るくしようという趣旨のプログラムを実行した。天童市に爆弾予告があり、学校の全ての扉を施錠する必要に迫られたときには、玄関にセンサーを置いて来校者に事情を説明し、学校職員に来客を知らせるプログラムを組んできた。学習発表会のために来校した保護者向けに、歓迎の意や会場のご案内、密を避けるお願いのプログラムも組んできた。センサーを変えたり、プログラムに工夫を加えたり、プログラムを実行させるための表示を考えたりしながら学習を重ねている。また、その振り返りからよりよいプログラムをめざしていきたいという願いも出てきて、学習に深まりが出てきた。	
		

